

令和4年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1 児童の状況及び実態

理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の基礎問題は理解できる。 ・基礎を基本とした応用力がない。 ・実験、観察等で主体性に欠け、人任せにする傾向にある。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の位置関係について、方位を用いて説明することに苦手意識を感じている児童がいる。 ・資料や教科書の中から内容を読み取ったり、考えたりすることが苦手な児童がいる。 ・指定語句を使い記述する問題の正答率が低い。 ・まとめや調べ学習の際には、意欲的に取り組んでいる児童が多い。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で活用できる程度の理解や技能を習得する。 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために必要な力を身に付ける。 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を持ち、粘り強く問題解決に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に実験する、体験させることで実感させる。 ・観察、実験などに関する技能を身に付けさせる。 ・練習問題への取り組みやICT機器を用いた学習で習熟を図る。 ・学習内容が生活場面のどこで生かされているか、生かすことができるか具体的な場面を捉えさせ、学習問題に取り組ませる。 ・単元の導入で児童の興味、関心から学習課題を立て、児童が進んで解決に向かうようにさせる。 ・ノートや観察カード等の内容をチェックする。 ・授業中の発言を重視し、友達と関わりながら自分の考えを見直させる。
社会	<p>○知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の意味や特色、働き、社会の仕組みや状況などを説明できる力を身に付ける。 <p>○思考力・判断力・表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の特色や相互の関連、意味について考えたことや、社会への関りについて選択・判断したことを表現する力を養う。 <p>○学びに向かう力、人間性等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会事象について主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用語・語句は、既習事項等と関連付けて確実に習得できるようにする。 ・学習計画を立てて、予想をしてから調べることで、実感をもって理解できるようにする。 ・語句を指定し、説明する時間を授業内で設けることで、指定語句を用いた問題に慣れさせる。 ・節水や節電、ごみの減量や水を汚さない工夫など、社会に見られる課題を把握し、それらの解決のために自分たちにできることを選択・判断する時間を設ける。 ・資料を読み取り考えたことをノートに記述し、全体で話し合う時間を設けることにより、表現する力を養う。 ・地図帳を用いて自分の暮らす地域と結び付けて考えたり、映像やICT機器を活用したりすることに主体的に問題を解決できる環境づくりをする。